

川特だより

<学校教育目標>

『ひとりだちする生徒

～社会的に自立できる心豊かな人間を育成する～』

<めざす学校像>

『生徒一人一人の自立を育てる 笑顔あふれる学校』

令和最初の夏休み、充実した日々をお過ごしだったでしょうか。学校では、今…

44日間の夏休みが無事終わり、生徒の皆さんは逞しく成長し、笑顔で始業式に戻ってきてくれたようです。前号で、「2019、夏休みに必ずやるべき10の事」と題して自分への挑戦状を作成することをお勧めしましたが、たくさんの成果があったようです。頑張った自分と達成感が自信となり、次なる挑戦のきっかけになることを願っています。

さて、2年後に特別支援学校高等部・高等学校の新学習指導要領の本格実施が迫っていますが、本校でも、それに伴い、新しい教育課程(授業内容や授業時数等)の編成に向け、少しずつ準備を始めています。学校研究への取組や、講師を招聘しての研修会の開講、教員が各種研修会に参加したりしています。今回の学習指導要領の改訂は、70年に一度の大改革といわれており、今までになかった「前文」において、持続可能な共生社会の創り手になることができる力の育成がねらいであることを明記しています。そのためには、社会に開かれた教育課程を実現することや、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るのだという理念、何を学ぶかだけでなく学んだことを活かして何ができるようになるかが大切であり、どのように学ぶかも重要であることなどが示されています。障害のあるなしにかかわらず、それぞれのよさや個性を認め合い、それぞれが、持てる力を最大限に発揮しあい、よりよい社会の創造を目指さなくてはならないということです。教育課程を充実させるためのカリキュラムマネジメントやよりよい課題解決を可能にする力を育むための授業改善に向けた主体的、対話的で深い学びや情報収集・処理能力やICT機器の活用能力育成のためのプログラミング学習などが上げられています。これらを踏まえ、本校では、新教育課程の策定に向け、夏休みの余暇講座で川越市立高校でのPC講座を開設するなどを試みています。

トイレの全面改修工事の遅れが見込まれています。

今夏行われているトイレの全面改修工事ですが、工事が予定より遅れております。仮設トイレを設置し、学習活動等への直接的影響が出ないように努めて参りますが、安全確保のため、生徒の校舎内外への一部立ち入り制限等が続きます。ご不便、ご迷惑をお掛けすることもあります。生徒、保護者、地域の皆様のご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

夏休みの作品展示については、隣接のあけぼのひかり旧園舎で行います。裏面を参照下さい。

「輝き祭」の実施予定日を11月23日(土)に変更いたします。ご理解ご協力をお願いいたします。

「小江戸川越ハーフマラソン2019」の日程コース等について、7月25日(木)付け広報で公式発表され、本校の「輝き祭」と日程が重なることとなりました。沿道の観客も昨年を上回る予想があり、本校脇がコースになることから、集客や売り上げ増も見込まれるとの見方がありますが、安全安心を最優先させる判断をさせていただき、11月23日(土)勤労感謝の日に変更し、実施させていただくことといたしました。ご理解ご協力をお願いいたします。

校長 阿部 和彦